

■活断層基本図（仮称）に関する今後の主な検討事項と年次計画：

検討事項は⇔期間において関係機関間で議論、●印において調査観測計画部会へ報告予定

（関係機関：国土地理院、防災科学技術研究所、産業技術総合研究所、地震予知総合研究振興会）

調査観測計画部会は年1回（2月頃開催）、関係機関打ち合わせは年数回開催と仮定

		H27	H28	H29	H30	H31
データ整備 （主な整備 対象地域）	中国	⇔				
	四国	⇔	⇔			
	近畿		⇔	⇔		
	中部			⇔	⇔	
	東北				⇔	⇔
基本スペック の検討	データ連携		⇔●	⇔●		
	位置の精度・分解能と縮尺		⇔●	⇔●		
	トレース線や重ね合わせデータの表示方法		⇔●	⇔●		
	各機関で活断層名や解釈が異なる場合の扱い		⇔●	⇔●		
	情報更新の方法		⇔●	⇔●		
	活断層認定の根拠		⇔●	⇔●		
	公開システム（仮称）基本仕様				⇔	
	公開システム（仮称）試作					⇔●
利用ルー ルの検討	名称			⇔●	⇔●	⇔●
	利用上の注意・免責事項				⇔●	⇔●
	セキュリティ対策				⇔	⇔
	トラブル発生時の対応方針				⇔	⇔●

○参考：活断層基本図（仮称）データ整備状況（平成 27 年度現在）

（（公財）地震予知総合研究振興会資料）

